

第二四七回ペン川柳会

令和六年十二月二十三日

お題 「夜」

■ 浜田（我々好）

ウイスキー

クリスマスひとり酒飲む夜は長し
談合のできた宴会盛り上がり

■ 八木（明迷）

めいめい

夜泣きそば屋台の棚のカップ麺
何故なのかうなぎのパイは夜の菓子

■ 稲宮（井波）

いなみ

綺麗どこ夜汽車で隣酒交わす
祇園の夜（よ）チケット分のお酌だけ

■ 塚田（拿々）

だだ

蛍雪のラジオ懐かし深夜便
温暖化年々ふえる熱帯夜

■ 安藤（晃二）

てるつぐ

今は昔トングリ帽子の聖夜かな
夜食いま夜霧夜露のあの頃よ

■ 三春（火酒）

ウオッカ

「酔鯨」がくだ巻きだして「夜明け前」
闇バイト年齢不問古稀傘寿

■ 山縣（安兵衛）

やすべえ

夜が明け弾劾逮捕内乱罪
夜のしじま明ければそこは雪国に

■ 松谷(零門)
れいもん

一夜でも秀吉○でオレはペケ
様変わり昔四合いまは六

■ 大野(だし)

糞坊主すねた柳の身にもなれ

「夜の梅」柳生の里を思い出す

世話人 塚田 實(拿々)
だだ